

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 農地整備課長 高橋 裕司 電話番号 0852-22-5149

事務事業の名称	地すべり防止施設管理事務
目的	(1) 対象 地すべり防止区域内に農地を所有する農家及び区域内に居住する者 (2) 意図 地すべりによる農地及び家屋等への被害を防止することにより、安全安心の生活や営農を確保する
事業概要	・地すべり防止機能の継続を図るため、過去に施工した地すべり防止施設に対して修繕工事等を行う。

2. 成果参考指標

(1) 指標名	修繕工事を実施した地域数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		50.00	50.00	50.00	50.00	
式・定義	修繕工事を実施した地域数	実績値	168.00	72.00	61.00	44.00		
		達成率		144.00	122.00	88.00		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	78,419	92,692
うち一般財源 (千円)	1,519	5,292

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・地すべり防止施設の点検を順次行い、県単農地地すべり防止施設長寿命化事業により平成26年度は44地区で老朽度や緊急度に応じた修繕や更新を実施している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・排水機能の低下した水抜ボーリング工について、孔内洗浄を行うなど施設の長寿命化を行い、地すべり防止機能の継続が図られている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・地すべり防止施設が耐用年数を超過し、修繕や更新が必要な施設が増加している。
・平成26年度から国庫補助事業で施設補修等に取り組むことができるようになったが、国予算が十分に確保されていない。

②困っている状況が発生している「原因」

・地すべり防止法制定から50年以上経過しており、今後、修繕や更新を必要とする施設が加速度的に増加する。
・国予算が、必要額を満たしていない。

③原因を解消するための「課題」

・保全管理をより効率的に実施するためには、個々の地すべり防止施設についての定期的な機能診断や劣化予測、効率的な対策工法の検討及び機能保全計画の作成が必要。
・効率的な地すべり防止施設管理を行うためには、安定的な国庫補助事業予算の確保が不可欠。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・地すべり防止施設を戦略的に保全管理していくための地すべり防止施設長寿命化計画の個別施設計画を策定し、ストックマネジメントサイクルを確立する。
・国予算について、当初予算での確保が図られるよう機会を捉えて国に働きかけていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）